

「三位一体」大作戦 第1弾！ 合格率を高める仕組みが、是非、必要！！

ことばの研究社

※ 今年度の介護士国家試験では、EPA受験者の合格率は、50.7%であった。また、看護師国家試験では、17.7%であった。

※ 例年に比べ、合格率は介護・看護ともに多少上昇したが、決して高い合格率とは言えない結果が出た。これは、受け入れ機関の教育に対する取り組み方にある。

※ 合格率が低い原因には、受け入れ機関と教育指導者と受験者との間で、「責任の範囲」が明確になされていないことにある。

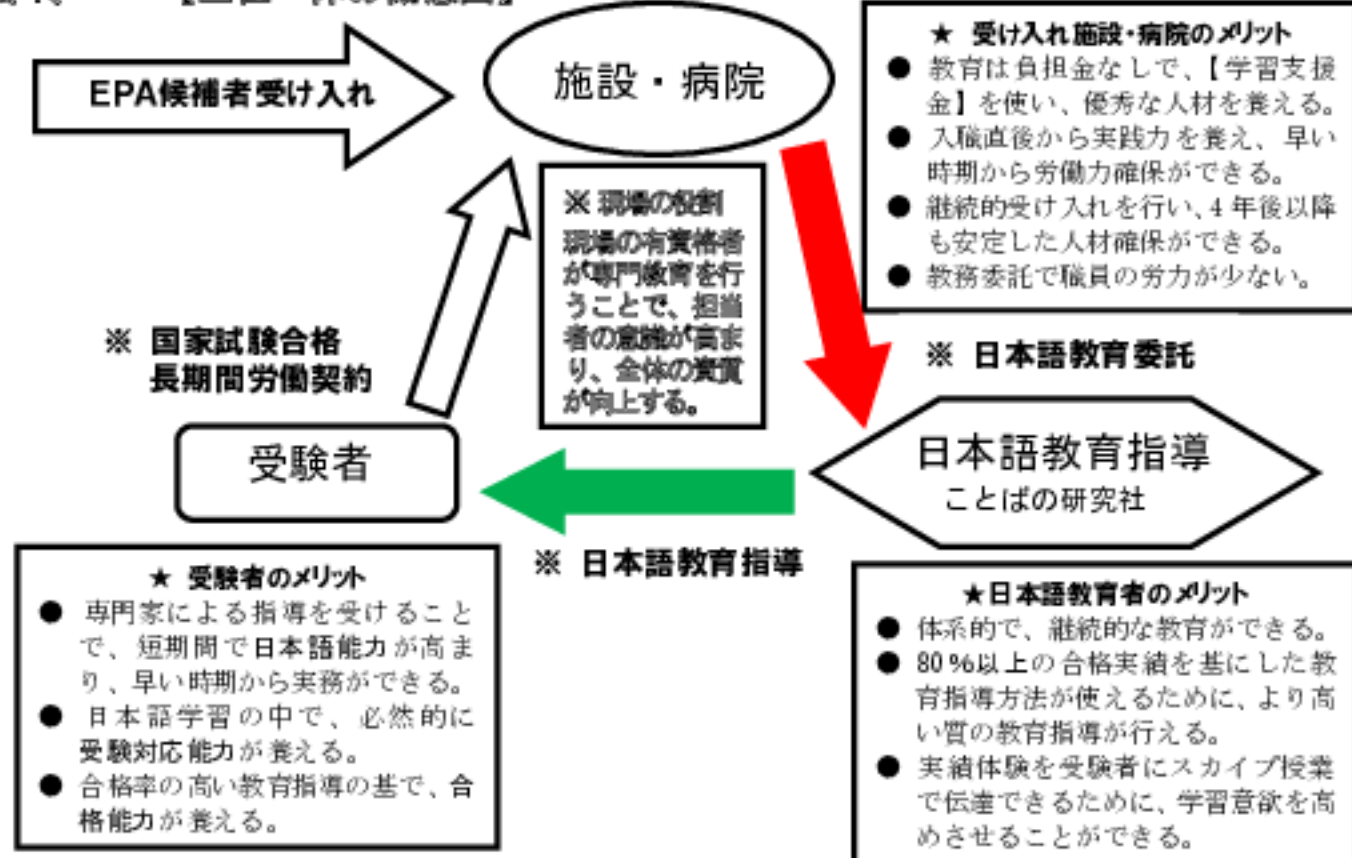
※ 即ち、受け入れ機関内で職員が教育指導をしている例が、全国に多数あることをみると、そのこと自体が合格率の低さを裏付けている原因となっている。

1. 「合格率を高めるには、どうすればよいのか？」

- 表1は、受け入れ機関と教育者と受験者との関係を完結に表した「概念図」だ。この【三位一体の概念図】でみると、三者の「責任の範囲」が明確に読み取れる。
- 「責任の範囲」の考え方が確立されない限り、三者間での共通のメリットは不明確となり、得られることができなくなる。
- この共通のメリットとは、「人財育成」のことだ。労働力不足に対する一つの方策として、EPA制度を利用することで、問題解決を図ることが今、急務となっている。（【月報 62号】参照）

- 多くの受け入れ機関では、いまだに職員が入職直後の言語能力のない受験者に対して、事業団教材を使い、教育指導を行っているのが実態だ。言語教育に対しては、素人の職員が事業団教材を使って指導しても、教育効果が上がるはずもない。
- これは例えば、日本人の小学生に対して、専門学校の教材を使って教育指導をしているのと全く同じだ。その結果、受験者は学習意欲が萎えて、途中帰国などの原因ともなっていることに留意すべきだ。即ち、これは、「責任の範囲」が確立されていない典型的な事例と言える。

表1. 【三位一体の概念図】



※ 受け入れ機関の最大の目的は、「優秀な人財の確保」と、「安定した労働力の供給システムの構築」だと言える。

※ 今後ますます、人材不足時代となることは、誰もが認識している事実だ。「三位一体」の実践を早急に行うことが最も具体的な解決策だ。

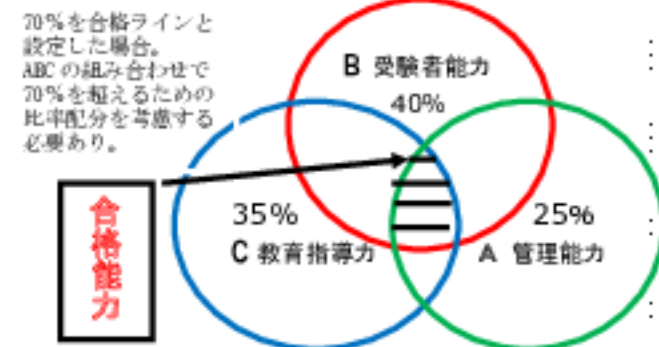
II、【「三位一体」でなければ、合格できない！】

- 表2は、「受験者と教育指導者と管理責任者の関係」を図式化したものだ。その結果、受験者の受験能力が順調に養われて、国家試験合格能力が身につくという考え方。（【月報77号】参照）
- 受験者は、日本人の協力なしでは単独で国家試験に合格することはできない。この観点から、「受験能力と教育指導力と管理能力とを結合すること」で、より効果的な教育が行われ、合格に結び付けることの重要性を認識することが大切だ。

A、【受け入れ機関の「責任の範囲」とは？】

- ※ 第一に、受験者の「学習環境」を整備することだ。と同時に、国家試験日までの「学習計画表」を作り、その計画に基づいて、着実に実行させるように管理指導をすることだ。（【月報49号】参照）
- ※ 第二に、適切な教育指導者に言語教育を委託して、受験者の言語能力の変化を「客観視すること」が重要だ。そのためには、教育指導者から定期的に言語能力の到達度を数値化して報告させ、管理することが、最も重要な役割となることを認識すべきだ。
- ※ 第三に、受験者の学習状態を定期的に管理・把握し、問題があれば、改善を促す指導をする必要がある。その結果、受験者自身の「学習意欲の継続」がなされ、言語能力の向上の基となることを認識すべきだ。
- ※ 第四に、入職後二年目からは、現場での「体得教育」を業務に合わせて指導することで、専門語彙並びに、専門知識を日常的に習得させ、進度を管理すべきだ。
- ※ 第五に、入職三年目からは、有資格者の中から最新の国家試験合格者を選び、「国家試験合格能力」を養うために、専門教育を行わせることが最も重要な「責任の範囲」となる。なぜならば、教育指導者は、あくまでも言語教育の範囲でしかないからだ。

表2 【合格条件の概念図】



B、【受験者の「責任の範囲」とは？】

- ※ 受験者には、あくまでも労務契約の中で、雇用関係を結んだ労働者であることを認識させるべきだ。また、受け入れ機関の学習方針には、必ず従わせて「働きながら学習する意識」を身につけさせる必要がある。
- ※ 特に、受験者は日本人とは違い、応答の返事には真実性が乏しく、「分かった反応をしながら、実は分かっていない」の対応を平然と行うことが多いことを、常に留意しておくべきだ。この点については、入職直後から厳しく「有言実行」の姿勢を保つ重要性を教える必要があり、【責任感を持たせる】ことが重要だ。
- ※ 学習に対しては、指定された課題並びに、宿題等を必ず実行しなければならないことを認識させる指導が大切で、「学習も仕事の範囲」だという意識を持たせることが重要だ。
- ※ 自学をしない受験者には、自学をすることも「責任の範囲」であることを認識させること。

- ※ 受験者の言語能力を客観視するために、その到達度を数値化して、素人の関係者が見ても分かり易く、受験者の能力について解説する責任がある。（【月報46・55・67号】参照）即ち、適時に、そして、定期的に受験者の言語能力の変化を受け入れ機関に報告すると同時に、受験者にも知らせる責任がある。
- ※ 言語能力を数値化することによって、受験者自身が「学習意欲の継続」を持ち、また、受け入れ機関もその変化によって、現場での対応方法が変わり、早い時期から「夜勤などの責任ある仕事」を任せることができるよう情報提供の責任も教育指導者の「責任の範囲」だ。
- ※ 受け入れ機関は、第三者に教育を委託した場合には、教育指導者の「責任の範囲」を明確に要求して、客観的な受験者の到達度を報告させる必要があることを認識すべきだ。

C、【教育指導者の「責任の範囲」とは？】

- ※ 受験者は、母国での日本語教育と来日直後の集中研修で、約1,560時間の日本語学習を行っているが、入職直後の言語能力を弊社が調査してみた結果、ほとんどの受験者が日本人の4~5歳レベルの言語能力しかないことが判明している。
- ※ 上記の状態を把握した上での日本語教育をして、入職後の日本語教育ができる教育指導者でなければ、言語能力向上をさせることは決してできない。よって、教育指導者の責任の範囲を果たせる者は、日本語教育を【総合的に捉え、体系的に理解し、継続的に教育できる専門家】でなければならないことを認識する必要がある。
- ※ 教育指導者は、あくまでも日本語力の向上に努めることが最低限の絶対条件と言える。即ち、【聴解力・読解力・口答表現力・構文力】の「四つの基本技能」と言われる言語能力を養うことに、「責任の範囲」がある。

現場の声

専門学校で日本語を学習中だが、 日本語力が伸びない・・・！！

- 入職してから、専門知識と日本語学習を同時に指導してくれる専門学校に通わせている。既に、半年以上が過ぎているが、日本語力が伸びていないことが職員から見てもはっきり分かる。
- 業務では、バラバラに人員配置して、日本語だけで対応しているが、宿舎ではどうしても、母語を使って会話をしているために、日本語が伸びない原因ともなっている。この点が施設としても大きな悩みだ。今後の対応策を具体的に考えなければいけない。(東京都・T施設)

現場と総務との意見の相違が問題だ！

- 総務では、【月報】を毎号熟読している。特に3月号は、頭にも胸にも痛くなる内容だった。「日本語力がないと合格できない」の考え方は、当たり前のことを言われており、何も反論することができない内容だった。
- しかし、現場の看護師達の意見は、全く逆の反応で、「まずは、国家試験合格をさせることだ」と言い張る。日本語力は、「合格後に身につけさせれば良い」との考えを譲らない。だが、人材育成担当の総務としては、「国家試験問題は、日本語で書かれている」とごく当たり前の考え方があるので、看護部の矛盾した考え方に対して、大きな抵抗を感じている。この考え方の違いをどうしたら解決できるのか、当病院の人材確保上の問題だ。

(東京都・R病院)

計画はあるが、本当に効果があるか？！

- 昨年12月に入職して、約4カ月間が経過し、施設内で簡単な業務から行わせている。候補者に対する施設側の希望は、【日本文化と母国の文化の違いを理解した上で、高齢者に優しく接して働ける人材になってほしい】と、期待している。
- 4月からは、日本語学習を重点的にを行い、専門用語や知識も現場で指導していく予定だ。また、多職種との関わりも、業務の中であるために、会話能力を高めるようにしたいと考えている。果たして上手くいくか？

(東京都・K施設)

看護師が日本語力の重要性を実感！！

- E P A受け入れに対しては、母国での日本語学習と来日直後の集中研修で充分、日本語力が身につけていると考えていた。しかし、対面してみると会話力がないことがはっきり分かり、また、業務指示通りにできないこと等から、日本語教育が不十分であったことに気付いたので、無料の【10分間テスト】を受けさせて、その結果を見たら驚いた。
- 今までは看護師が専門知識を中心に教育指導をしていたが、その指導内容のほとんどが理解できてないままに、専門語彙や知識の説明を行っていた。しかし、【10分間テスト】の結果後は、まずは、「日本語力がないと専門語彙や知識の説明や読み取りができないこと」に気付いた。
- そこで、【到達度試験】に参加させ、受験者自身が2か月間で、「日本語が分かるようになってきた」と言う程までの変化があったので、驚いている。3か月間後には、一般職員も気づくほどの日本語力の向上が見られた。やはり日本語力がなければ、専門語彙や知識は身に付かないことが、はっきり理解できた。

(兵庫県・S病院)

どうすれば、言わなくても 学習するようになるの？

- 入職1年目は、日本語の先生に来てもらって日本語力を高めるための学習をさせてきた。先生から出された宿題は、自分たちで真面目にしてきた。だが、それ以上のことは自分から勉強しないのが実態だ。4月以降は、専門知識の学習をさせる計画で、職員も現場指導をしていく方針でいる。しかし、日本語力が十分でないのに、難しい専門用語や知識が本当に分かるのかが心配だ。
- 【月報】では、「自学能力を養うということが大切だ」と書かれている。私共も、それは非常に大切だということは良く分かり、理解できる。そうならば、本当に素晴らしいことだが、どうすれば、「自学能力が養えるのか」を教えて欲しい。今は、自分で勉強する意欲がないことが一番、施設としても頭が痛い点だ。

(神奈川県・T施設)

【新年度の学習計画は、受験者の言語能力を客観的に把握した上で行うこと】

- ★ 全国の多くの受け入れ機関では、未だに受験者の言語能力を客観的に把握しないままに、「専門教育優先」の考えで教育指導をしている。
- ★ その結果が今回の国家試験合格率にも、具体的に反映しており、介護並びに看護ともに、低い合格率となってしまっている。
- ☆ まずは、受験者の現状の言語能力を把握することが重要だ。そして、その結果に基づいた「学習計画」を立てる必要がある。把握する手段としては、弊社の無料「10分間テスト」がある。

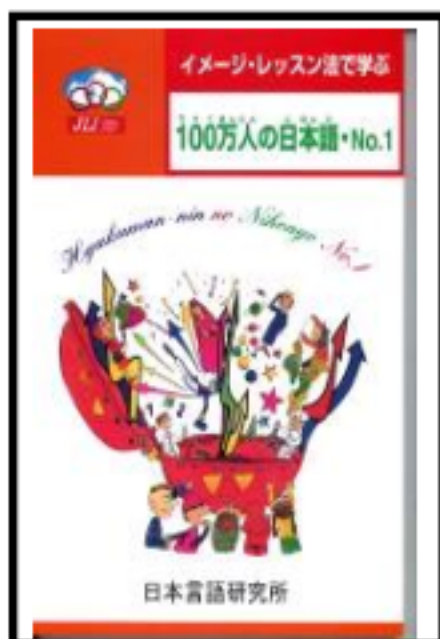
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・教材の無い会館
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

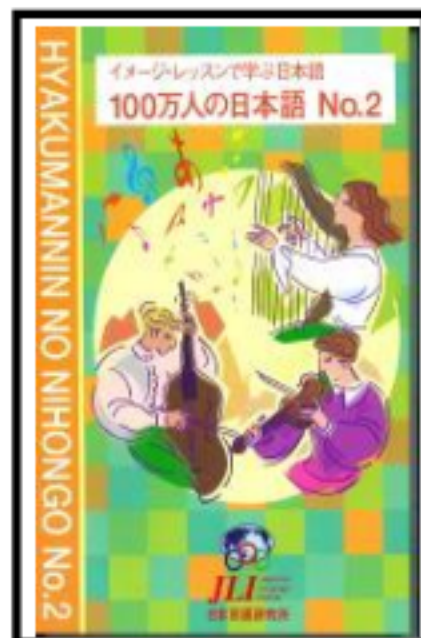
学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字
※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字
※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,200円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字
※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

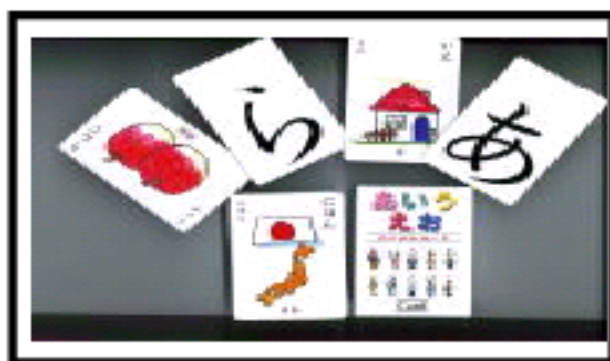
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

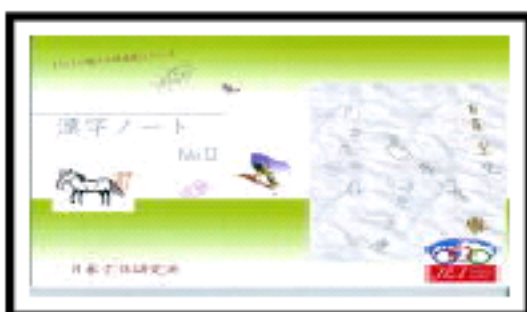
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されてされています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

二年目

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

三年目

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		